

第四十五回帝國議會
衆議院

刑事訴訟法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正十一年二月十三日午前十時五十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 鷗澤 總明君
理事 熊谷 直太君 理事 清瀨 一郎君
前田 米藏君 黑住 成章君
塚原 嘉藤君 齊藤 太郎君
永屋 茂君 禰 苗代君
高見 之通君 横山 金太郎君
森下 龜太郎君 山移 定政君
出席政府委員左ノ如シ

司法次官 山内 確三郎君
司法省民事局長 池田 寅二郎君
司法省刑事局長 林 賴三郎君
司法省參事官 上埜 安太郎君
司法省參事官 秋山 高三郎君
司法事務官 宮城 長五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

刑事訴訟法案

○鷗澤委員長 是カラ刑事訴訟法案ノ委員會ヲ開キマス、ソレデハ通告ノ順ニ依リマシテ禱君

○禱委員 大體ノ質問ハ略、此清瀨君其他ノ方カラアリマシタケレドモ、尙ホ一般ノ問題トシテ、人權ノ擁護ニ關スル事柄ニ付キマシテ、尙少シク質問アリタイト思フテ居リマス、本案ヲ通ジテ見マス、被告ノ當事者タル所ノ地位ヲ確保シテ、其權利利益ヲ擁護スル趣旨ニ於テ、幾多ノ改正ガ加テ居リマスガ、併シ世ニ所謂人權蹂躪問題ノ發生スル根源ト申シマスガ、其點ニ付テ未タ然ニ此問題ノ發生ヲ防止スルコトニ付テハ、マダ十分ジヤナイカトモ思ハレル點ガアルト思フノデス、此人權蹂躪問題ノ發生スル根源ハ、何處デアルカト申セバ、此搜查機關ガ搜查スルニ付キマシテ、被嫌疑者若クハ其他ノ關係者ヲ調べマス時分ニ錄取シタル所ノ、其調書ヲ證據ニスルト云フコトニ付テ、色々此人權蹂躪問題ノ發生スル根源トナリハシナイカ、尙ホ詳細シク申シマスレバ、即チ搜查機關ガ名ヲ搜查ニ結リテ、或ハ權力ヲ用キ、或ハ威カヲ用キテ、被嫌疑者、若クハ關係等ノ關係者ニ心ニモナイ供述ヲナサシメテ、其錄取シタル所ノ調書ヲ裁判所ガ取テ以テ之ヲ裁判ノ資料トスルト云フ事柄ニ依ッテ、色々問題ガ起テ居ルヤウデアリマス、而シテ此本案ヲ通

覽シテ見マスト云フト、三百三十八條デスカ、茲ニ事實ノ認定ハ證據ニ依ルハ、證據ノ證明力ハ、判事ノ自由ナル判斷ニ任ス、斯ウ云フ規定ガアリマス爲ニ、此證據ト云フノガ、即チ今ノ問題ノ焦點ニナルノデアリマス、是ハ勿論理論カラ申セバ、證據ト云フモノハ、裁判所ガ蒐集シタモノニ限リ、檢事若クハ司法警察官ガ被嫌疑者若クハ其他ノ關係人ヲ調ヘル際ニ錄取シタル所謂調書ト云フモノハ、此中ニ這入ラヌヤウニ文面カラ申シマスと思ハレマスケレドモ、從前ノ刑事訴訟法ノ現行法ノ九十條ノ解釋上、大審院ハ矢張檢事若クハ其他ノ司法警察官ノ調書ヲモ、證據トスルコトガ出來ルト云フ判例ヲ作り、一般ノ裁判所ガ之ニ則テ裁判スルガ爲ニ、色々弊害ガアリマス爲ニ、吾々ハ多年此搜查機關ノ錄取シタル所ノ、作製シタル所ノ文書ト云フモノハ、是ハ所謂調書ノ一ツノ方法デアラ、檢事ガ公訴權ヲ行使スル所ノ一ツノ手段ニ過ギナイカラ、之ヲ證據トスルコトハ出來ルト云フコトヲ考ヘテモ居リ、ソレカラ理論上ハソレヲ考ヘテ居リマスケレドモ、大審院ガ一度此判例ヲ下シマシテカラト云フモノハ、今ノヤウ弊害ガ起ル如キコトニナリマシタケレド、此三百三十八條、三百三十九條ニモ矢張ソレ等ノモノガ這入ッテ居ルカ、這入ッテ居ルカ、不明瞭デアリマスガ爲ニ、矢張其弊害ト云フモノハ、此法案ガ縱令成立シマシテモ、除カレハハシナイ事ニナリハシマイカト思ヒマスガ、此三百三十八條ハ、是等ノ記錄ト云フモノハ、詰リ是等ノ文書ト云フモノハ、證據ニスルコトガ出來ナイ趣旨デアルトハ考ヘラレマスケレドモ、尙ホソレ等ノ疑問ヲ初カラ無クスル爲ニ、之ニ別ナ項目デモ設ケテ、是等ノ文書ハ證據ニスルコトハ出來ヌト云フヤウナ趣旨ヲ明確ニシテ置イタガ宜カラウカト、私ハ考ヘラレマスノデスカ、其點ニ付テ當局ハドウ云フ御意見デゴザイマスカ、一寸伺ヒタイ

○山内政府委員 私ハ毎々申シマス通り、刑事ニ付テハ頗ル間イ男デ、頗ルデハナイ、最も間イ男デゴザイマス、此聽取書ヲ證據ニスルト云フノガ善イカ惡イカト云フコトニ付キマシテハ、法律學者ト申シマセマスガ、法律事務ニ當テ居ル在野在朝ノ法曹ノ中ニモ議論ガアリ、議會ニモ屢ニ之ニ付テ法案ガ提出サレタヤウニ私ハ記憶致シテ居ル、サウ云フ次第デアリマスカラ、此聽取書ハ先ツ原則トシテ證據ニナラヌト云フコトヲ明文ヲ以テ掲ゲタ次第デアリマス、尤モ原則デアリマスガ故ニ、例外ガアルノデスカ、ソレハ區裁判所ガデハ、是ハ已ムヲ得ヌノデアル、簡單ナ事件ヲ取扱フ所デアルカラ已ムヲ得ナイ、是ハ先ツ證據トシテ宜イケレドモ、地方裁判所以上ニ於テハ、聽取書ハ證據トスルコトハ出來ナイト云フコトハ、三百四十五條ニ於テ明ニ其明文ヲ以テ定メタ趣旨ニ考ヘテ居ルノデス

○禱委員 此三百四十五條ニ依ッテ、詰リ「被告人其ノ他ノ考ノ供述ヲ錄取シタル書類ニシテ法令ニ依リ作成シタル訊問調書ニ非ザルモノハ左ノ場合ニ限り之ヲ證據ト爲スコトヲ得」斯ウ云フ文句ガアリマス、成程之ヲ通覽致シテ見マス、檢事ノ聽取書ヲ作製スルト云フ其場合ハ、現行法ニハ見エマセケレドモ、併シナガラ三百四十五條ニ依リマスル、此法律ニハ見エマセケレドモ、命令ヲ以テ定メ得ルヤウニモナッテ居ル、法令ト云フコトデアリマスカラ、法律バカリデアリマスセズ、司法大臣ノ命令ナリ、勅令ナリ、他ノ命令ヲ以テ、檢事ノ聽取書ヲ作製スルコトガ出來ルト言ヒ得ラレルデアラウト思ヒマスカラ、矢張此三百四十五條ノ法令ト云フコトハ「令」ノ字ヲ「律」ノ字ニデモ御直シナレバ格別デアリマスケレドモ、法令トナッテ居ル以上ハ、今私ノ申上デラヤウニ、別ニ項目ヲ設ケヌト云フト、今ノ司法當局ノ言明セラレタル趣旨ハ、貫徹セヌコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、如何ナルモノデゴザイマセウカ

○山内政府委員 成程命令タルガ故ニ、司法大臣ノ命令ヲ以テシテモ、訊問調書ヲ作り得ルト云フコトニモ讀マレル、讀マレルノデハナイ、御讀ミニナルノデアリマスケレドモ、私ハサウ考ヘテ居ナイ、訊問ヲシテ之ニ答辯ヲサセルト云フ一ツノ強制ノアル所ノ訊問ハ、法律ヲ以テスル外仕方ナイ、唯「令」トアルノハ、私ノ考デ以テ致シマスレバ、是ハ共通法ノ關係モアルシ、臺灣或ハ朝鮮ニ於テ、制令又ハ律令ニ依ッテ訊問調査ヲ作ル場合モアルノデアリマス、必ズシモ法律ト限ル譯ニハ行クカイト思ヒマス、少ナクモ法律ノカヲ有スル命令ヲ以テスルニアラザレバ、訊問調書ヲ作製スルコトハ出來ナイダラウト私ハ考ヘル、前ニ申シマス通り、私ハ素人デアリマスカラ、尙ホ刑事局長カラモ此點ニ付テ説明ヲ與ヘルコトト考ヘマス

○禱委員 サウ致シマス、此法令ト云フノハ、命令ハ包含セヌモノダト云フ意味デアルト云フコトニ伺ヒテ置イテ宜イ譯デアリマスカ

○山内政府委員 命令ハ包含スルノデアリマス

○禱委員 詰リ法律ト同一ナル效力ヲ有スル命令ダケヲ指シタノデアッテ、其他ノ司法大臣ノ命令或ハ勅令、斯ウ云フ

モノデハナイト、斯ウ云フヤウニ伺フテ置イテ宜シウゴザイマス

○山内政府委員 私ノ考ハサウ云フ考デアリマス

○禱委員 ソレハ其次ニハ矢張同ジ趣旨ノ質問デゴザイマスガ、法文ニ依テ方ガ早ク分ラウト思ヒマス、九十四條ニ付キマシテ、被告人ノ勾引ヲ囑託スルコトヲ得ト云フコトハ、結局本來ハ裁判所ノ權限ニ屬シテ居ル譯デアル、是ガ囑託ヲ受ケタル判事若クハ特別ニ裁判權ヲ持テ居ル官署ガ、之ヲ勾引スル所ノ權限ヲ有シテ居リマスガ、其囑託ヲ受ケテ居ル一囑託ヲ受ケマスル所ノ判事、若クハ特別裁判權ヲ有スル者ガアツテモ、勾引スルコトガ出來ナイ場合ニ於テ、裁判權ヲ有セザル所ノ所謂檢事、又ハ司法警察官、是等ニ強力ナル權限ヲ與ヘルト云フコトハ、寧ろ不穩當デナカラウカト思ハレマスガ、此點ニ付キマシテ、是等ノ官署ニ對シテモ此權限ヲ與ヘナケレバ、非常ナ不都合ナ點ガアリマデセウカ、其點ヲ伺テ置キタイ

○林政府委員 只今御尋ノ點デアリマスガ、此勾引ヲスルコトノ出來ル場合ハ、法律ニ限定シテアリマスノデ、其原因ノアル場合ニ、勾引サルベキ人ガ他ノ場所ニ居ルト云フ時ニ、其場所ニ在ル官署ニ囑託ヲスルト云フコトハ、是ハ無論必要ナ事デアリマス、所ガマダ囑託事項ヲ實行シナイ内ニ、其者ガ他ノ場所ヘ所在ヲ變ヘルト云フヤウナ事ガアル場合ニ、轉囑出來ヌト云フト、實際ニ於テ勾引ノ目的ヲ達スルト云フコトガ困難デアル、非常ニ遅レルト云フヤウナ關係ガアルノデス、斯ノ如クスルト云フコトハ、實際ニ便宜デアツテ而シテ何等弊害ハ無イト考ヘテ居リマス

○禱委員 此囑託ヲ受ケタ人ハ、何處ニデモ轉囑スルカラシテ、ソレ等ノ弊害ト云フモノハ無イヤウニモ考ヘラレマスガ、其點ハ如何デアリマセウカ、ドン一轉囑シテ行ク者ガ出來ルヤウデアリマスカラ、是等ノ官署ニ對シテ與ヘヌデモ、其權限ヲ行使シテ行クコトニ付テ、些トモ差支ナイヤウニ考ヘラレマス

○林政府委員 一寸御尋ニ付テ誤解シテ居ルカモ知レマセウカ、若シ轉囑ヲ許シマセムト云フト、執行ノ出來ヌヤウナ場合ニハ、最初囑託シタ官署ノ方ヘ返シマシテ、ソレカラ更ニ別ノ官署ニ囑託スルト云フ事ニナル、從テ非常ニ時期ノ遅レルト云フ事ハ疑ナイ、サウシテ受託官署——受託權限ノアル官署ニ轉囑スルノデアル、何處ノ官署デモ構ハズ轉囑スルト云フ意味デハナイ、要スルニ前ニ囑託シタ其官署ヘ一旦返シテ、更ニ囑託セシメルカソレヲ省略シテ、囑託ヲ受ケタ官署カラ他ノ官署ノ方ヘ轉囑スルカ、ソレダケ問題デアル、弊ガ何處ニアルカト云フコトヲ、一寸了解シ兼ネテ居リマス、便宜コソアレ、弊ハ些シモ無イト考ヘテ居リマス

○禱委員 ソレカラ次ニハ、矢張同ジ關係ノ事デゴザイマスガ、此百十九條——矢張條文ニ基キマシタ方ガ便利ダト思ヒマスガ、裁判所ハ檢事ノ意見ヲ聽キ何時ニテモ決定ヲ以テ保釋責付又ハ勾留ノ執行停止ヲ取消スルコトヲ得ト云フヤウニ人ノ權利ノ自由ヲ束縛シマスルニハ、相當ノ理由ガナケレバナラヌト思ヒマスガ、其時分ニハ、裁判所ハ何等ノ理由ガナクテモ宜シイト云フ意味デゴザイマセウカ、吾々ノ考ヘマスル所デハ、斯ウ云フヤウナ重大ナル、詰リ其人ノ自由ヲ束縛シ、權利ヲ束縛スルト云フヤウナ場合ニハ、之ニ條件ヲ附シタ方ガ穩當デナカラウカト思ハレマスガ、此點ニ付テ特別ニ斯ウ云フ必要ガ——詰リソレ等ノ理由ガナクテモ宜イト云フ必要ガアリマデセウカ、此點ヲ伺ヒタイ

○林政府委員 只今御尋ハ、成程法文ノ文字ダケ見ルト云フト、御尤ナ點モアルト思ヒマスガ、併ナガラ此案ニ於テハ、全篇ヲ通ジテ人權ヲ尊重スルト云フ趣意ハ躍然トシテ現ハレテ居ル、勾留ト云フヤウナ事ハ、餘程慎重ニヤルベキ事ニナツテ居リマス、從テ此保釋ヲ許シ、責付ヲ許シ勾留ノ執行停止ヲシタ場合ニ、之ヲ謂ハレナク取消スルト云フ事ハ、此法律ノ精神ニ反スルト云フ事ハ疑ナイ、詰リ逃走ノ虞ガアルトカ、證據湮滅ノ虞ガアルトカ云フヤウナ、人身ノ自由ヲ拘束スベキ相當ノ理由アル場合ニ於テ、保釋責付又ハ勾留ノ執行停止ヲ取消スルモノデアルト云フコトハ當然ナ事デアラウト思フ、之ヲ一々法律ノ明文ニ書クト云フコトハ、必要ガナカラウト思フ、實際ノ局ニ當ル者ハ、法律ノ精神ニ則リ、之ヲ實行スルト云フコトハ、當然ナ事デアラウト考ヘル

○禱委員 ソレハ夫ダケニシテ打切りマスガ、今度ハ矢張同ジ趣旨ノ質問デゴザイマスガ、此百五十條乃至百五十二條ノ所ニ於キマシテ、此押收搜索ニ付キマシテ、之ヲ司法警察官ヲシテ執行セシムルト云フ風ニ見エマスガ、斯ウ云フヤウニ押收デアルトカ、搜索デアルトカ云フヤウニ、人ノ身體名譽、財產ニ關シテ重大ナル影響ノアリマスル時分ニハ、裁判所ハ矢張之ニ對シテ慎重ナル態度ヲ以テ臨マナケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ百五十條乃至百五十二條ニ於キマシテハ、單ニ命令狀ヲ發シテ、司法警察官ヲシテ之ヲ執行セシメルト云フ規定ニナツテ居リマス、斯ウ云フヤウナ司法警察官ヲシテ此執行ヲセシメルト云フコトハ、其橫暴或ハ人權蹂躪ノ弊ヲ甚シカラシメルコトニナランカ、是ハ矢張裁判所ニ直接ニ是等ノ事ハサシテ差支ナイコトデナカラウカト思ヒマスガ、如何ナモノデス

○林政府委員 此等ニ付キマシテハ、十分考究シタノデアリマス、無論押收搜索ト云フコトハ、裁判所ガスルノガ原則ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、併ナガラ實際ノ必要ニ應シマ

シテ、豫審判事ナリ、或ハ檢事ナリ、他ノ機關モ、一定ノ條件ノ下ニ於テ其事ガ出來ルコトニナツテ居リマス、是ハドウモ吾々ノ實際ノ經驗カラ考ヘテ見マシテモ、必ス裁判所ノミガヤルト云フコトハ、機宜ヲ失スルト云フコトガ隨分アリマス、ソレデ或場合ニ於テ、司法警察官ニセシメルト云フコトハ、實際ニ於テ必要デアルト云フコトハ疑ナイト思ヒマス、本案ガ此條文ニ規定ヲ設ケマシタノモ、實際ノ必要アル場合ヲ慮ッテ規定致シマシタ次第デ、司法警察官ガ其行為ヲスル場合ニ、不都合ナ事ノ無イヤウニ、有ラユル方面カラ注意スルコトハ當然デアリマス、是アルガ爲メニ、弊害ヲ生ズルコトハナイト思ヒマス

○禱委員 是以上ハ結局意見ノ相違ニナリマスカラ、人權ノ擁護ニ關スル質問ハ是デ打切りマシテ、其次ニハ管轄ニ付キマシテ御尋ヲシタイト思ヒマス、此管轄ニ關スル規定、第一條カラ二十三條迄アリマスガ、其中ノ九條ノ二項及十條ノ二項デゴザイマス、同一事件ニ付キ、事物ノ管轄ヲ異ニスル數個ノ裁判所、及同一事件事物管轄ヲ同シクスル數個ノ裁判所ノ豫審公判ニ繫屬スル場合、此中ノ第九條ノ第二項カラ伺ヒマスガ、檢事ノ意見ノミニ依ツテ、既ニ上級裁判所ニ繫屬シテ居ル事件、若クハ前ニ公訴ヲ受ケタル裁判所ガ既ニ管轄ガ定テ居リマスノミ、尙檢事ノミヲシテ之ヲ動かスト云フコトニナリマスレバ、事務ノ滯滞ヲスルノミナデス、又非常ニ混亂ヲスルヤウナ虞モアル如ク考ヘラレマスガ、是等ノ規定ハ、十條ノ三項及九條ノ二項ヲ削除サレタ方ガ、今申シテ趣旨ニ於テ穩當デアルト存ジマスガ、此點ニ於テ司法當局ノ御考ヲ伺ヒマス

○林政府委員 同一ノ事件ガ二個ノ裁判所ニ繫屬シタ場合ニ、法律ニ於テ其何レノ裁判所ガ其事件ヲ審判スルカト云フコトハ、原則ノ二極メノデアリマスガ、併ナカラ實際ノ事情カラ申スト、法律デ極メタ原則ノ裁判所ガ審判スルト云フコトハ不便デアル、裁判所ノ爲ニモ、被告人ノ爲ニモ、其他關係人ノ爲ニモ不便デアルト云フコトガ往々アリマス、サウ云フ場合ニ於テ、實際ノ事情ニ從ッテ、他ノ既ニ起訴ヲ受ケテ居ル裁判所ニ審判セシメルコトガ、都合ガ好イノデアリマス、ソレデスカラ第二項ヲ創ルト云フ御意見ニハ同意致シ兼ル、ソレカラ又第二項ニハ、檢事ノ請求ニ因リトアリマスガ、是ハ必ズシモ檢事ノ請求ガアレバ、裁判所ガソレニ拘束サレテ、斯ノ如ク決定ヲシナケレバナラヌト云フ次第デハナイ、檢事ガ請求シタ場合ニ於テ、裁判所ハ諸般ノ事情ヲ調査致シマシテ、サウシテ他ノ裁判所デ審判セシメル方ガ適當デアルト考ヘタ場合ニ、此決定ヲ致シマス次第デアリマス、今御尋ネノヤウナ心配ハ少シモナイト考ヘテ居リマス

○禱委員 今度ハ忌避ニ關スルコトニ付キマシテ御尋ヲシ

タイ、箇條ハ二十九條ニ戻テ、忌避ヲ爲シマス時ニハ、其忌
避ニ付テノ當否ノ審判ヲスルノハ、上級裁判所、若クハ忌
避サレタ裁判所ニ非ザル裁判官ガ之ヲ審判ヲスルト云フ
コトガ原則ニナリ居リマス、二十九條ニ於キマシテハ、訴
訟ヲ遅延セシムル目的ノミヲ以テ爲シタル明白ナル忌避ノ
申立ト云フコトガアリマス、此場合ニ於キマシテ、決定ヲシ
テ却下スル、而シテ是ガ忌避サレタ裁判官ガ裁量ヲ爲スコト
ガ出來ルヤウニナリ居リマス、サウシテ見マス、如何ナル場
合デアリマシテモ、忌避サレタ裁判官ハ、彼ガ訴訟ヲ遅延セ
シムル目的ノミヲ以テ爲シタル明白ナル理由デアルト云フ
下ニ、其裁判官ガ直ニ裁判ヲ爲スヤウナ都合ナ結果ヲ
見ルヤウニナリハセヌカト思ハレマス、此箇條ハ寧ろ削除
スルコトガ、穩當デアリハセヌカト云フ考デゴザイマス、此
點ニ付キマシテハ、司法當局ノ御意見ハドンナモデゴザイ
マス

○林政府委員 此條文ニ付キマシテハ、調査委員會ニ於
テモ十分慎重審議シマシタ結果之ヲ置クコトニナリマシタノ
デ、要スルニ忌避權濫用ノ爲メニ、訴訟手續ノ進行ヲ阻害
スル弊ヲ防ガントスル趣意ニ外ナラヌデアリマス、今仰セニ
ナリヤウナ心配モ、考ヘ方ニ依リテハ無理ハナイデアリマス
、併ナガラ二十九條本文ニ在リマス通り、訴訟ヲ遅延セシ
ムル目的ノミヲ以テ爲シタル明白ナル忌避——明白ト
云フコトハ、言フマデモナク客觀的ニ何人ガ見テモサウ云フコ
トデアルト云フコトノ明ナ場合ヲ云フノデ、一見明瞭ナ場合、
サウ云フ場合ニハ之ヲ却下シテ宜シ、斯ウ云フコトニナ
テ居リマス、幾分ニテモ明白デアリ場合ハ、此明文ノ適
用ハ無イデアリマス、之ヲ若シ濫用スレバ、其職ニ在ルモノ
ハ責任ヲ免レヌ次第デアリマス、濫用ノ虞ハナイモノト
思ヒマス、是ハ外國ノ事例ニ微シマシテモ、御承知ノ獨逸ノ
刑事訴訟法ノ草案ナドハ、大體是ト同ジ規定ガ色々論究
ノ結果置カレタ次第デ、矢張忌避權濫用ヲ防グ趣意ニ於
テ、條文ヲ置クコトノ必要ガ認メラレタデアリマス、唯濫用ヲ
慎ムヤウニ、十分注意スルコトハ當然ナ事デアラウト考ヘマ
ス

○禱委員 後ハ議論ニナリマセウト思ヒマス、質問ハ
此點ニ止メテ置キマス
○永屋委員 一寸二十九條ニ關シテ……
○鶴澤委員 是ハ一寸通告願ニ質問ヲシテ居リマス、カ
ラ、如何デス、許シテ宜シイカ——ソレハ後デ……
○永屋委員 極ク關聯シテ居リマス
○鶴澤委員 關聯シテ居リマスモ仕方ガナイ
○禱委員 此法定ノ猶豫期間ハ、常ニ總則ニ置カレテア
ルモノデアラカラ、如何ナル場合ニモ適當ニナルモノト考ヘテ

居リマス、其意味カラ言ヘバ、茲ニ新ニ條文ヲ置ク必要モ
アリマセヌケレドモ、大審院ノ判例モアリ、又一部ノ學者ノ
說ニ依レバ、猶豫期間ノ適用ニナラヌト云フ學說モアリ、判
例モアリマス、若シ本案モ左様ナ解釋ヲサレルコトニナ
リマス、此ハ八十二條ヲ置イテ趣旨ガ没却サレハセヌカト
思ヒマス、或ハ此判決ニ對シテハ八十二條ハ適用ニナラヌ
ト云フ結果ヲ生ジハセヌカ、斯様ナ解釋ヲサレル虞ガアリマ
スカ、何レノ場合ニモ適用ニナルト云フ注意的ノ規定ヲ
置イタ方ガ、便利デハナイカト思ヒマス、此點ニ付テ司法當
局ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○林政府委員 上訴期間等ニ付テ、猶豫期間ノ適用ヲス
ルカドウカト云フコトハ、現行法ニ於テモ一ノ問題ト思ヒマ
ス、併シ判例ノ示ス如ク、上訴期間等ニ付テハ、猶豫期間ヲ
設ケル必要ハアルマイト云フノデ、ソレデ本案ニ於テハ上訴
期間ヲ延長シテ、控訴ニ付テハ七日、上告ニ付テハ五日ト
云フヤウニ、十分ユトリガ附ケテアリマス、被告人其他上訴
權ヲ有スル者ハ、其期間内ニ上訴スベキヤ否ヲ考慮決定スル
二十分ナル時間ガアルモノト思ヒマス、其以上猶豫期間
ヲ設ケル必要ハナイカト考ヘマス、要スルハ八十二條ハ猶豫
期間ヲ現行法ニ八里毎ニ一日ト云フノヲ、二十里毎ニ一
日ト云フ趣意ニ改メタデアリマス

○禱委員 尙一ツ八十二條ニ付テ承リマス、控訴並ニ
上告ニ付テハ、遠隔ノ地ニ在ルモノモ八十二條ハ適用スベキ
モノデナイト云フ御意見ノヤウニ伺ヒマシタ、其通りデア
リマセウカ

○林政府委員 判決ヲ受クル被告人ハ、判決ヲ受クルト
キ出頭スベキコトハ當然ノ事デアリマス、而シテ其判決ニ對
シテ不服デ、上訴ヲスルニ付テハ、十分ノ期間ガ設ケテアル
カラ、猶豫期間ヲ認ムル必要ハナイト云フ考デアリマス
○禱委員 本案ニ依リマス、判決ヲ受クルニ、審理ノ終
タ場合ニハ、當人ガ不在デモ判決スルコトガ出來ルヤウニナ
テ居ルト考ヘマス、其場合デモ矢張八十二條ハ適用サレ
ナイ趣旨デアリマス

○林政府委員 被告人ガ出頭シナクトモ、判決スルコトハ
出來マス、併ナガラ判決期日ハ通知シテ、被告人ニ出頭ヲ
求ムルコトニナリ居リマス
○禱委員 私訴ノ事ニ付テ一二點伺ヒマス、本案ノ規定
ニ依リマス、犯罪ニ由リテ損害ヲ受ケタ者ガ、其損害ヲ原
因トシテノ請求ハ、單ニ被告人ニ對シテノ起訴スルコトガ
出來ルヤウニナリ居ルト思ヒマス、或ハ其事件ニ關聯シ
テ居ルヤウナ者トカ、被告ト關係アル者ニ對シテハ、ドウシテ
モ起訴スルコトハ出來ヌト云フ趣旨ニナルデアリマス

○林政府委員 只今御尋ノ點ハ、色々議論ガアリマシタ結

果、本案ニ於テハ被告人以外ノ者ニ對シテハ、絶體ニ私訴
ヲ許サナイト云フコトニ致シタデアリマス
○禱委員 ソレカラ五百七十二條ニハ、事實ニ基キ下ア
リマス、是ガ認諾ヲシテモ、矢張事實ニ基カナケレバ判決
ガ出來ヌト云フ趣旨ノ下ニ出來テ居ルノデ、此認諾ニ付テ
ハ、何等御考慮ハナラサヌデスカ

○林政府委員 認諾ノ點ニ就テ、調査委員會ニ於テハ十
分研究ヲ致シマシタ、其結果五百七十二條ニ於テ請求ノ
拋棄ヲシタ場合ノ判決ダケヲ除外致シマシテ、認諾ニ基ク
場合ニ付テハ、除外ヲ致シマセヌ、要スルニ認諾ヲ致シマシ
タ所ガ、公訴判決認諾メタ事實ヲ根據トシテ裁判所ハ判斷
ヲシナケレバナリマセヌ、公訴事實ガ認メラナイノニ、義務ヲ
命スルト云フコトハ、私訴ニ於テハ認メナイ、唯請求ノ拋棄
ニ付テハ私訴ハ民事上ノ請求デアリマス、權利者ガ之
ヲ拋棄シタ以上ハ、裁判所ハ之ニ反對シテ處置ガ出來ナイ
ノハ當然デアリマス、サウ云フ關係デ、拋棄ダケヲ特ニ除外シ
タ次第デアリマス、是ハ五百七十四條ノ十一項ニ之ニ照應
スル規定ガアリマス、請求ノ拋棄ニ基キテ爲ス判決ト云フ
コトニナリ居リマス、認諾ノ場合ハ全然除外ヲシナイ、斯ウ
云フ精神デアリマス

○禱委員 私ノ質問ハ此點ニ於テ終了致シマシタ
○高見委員 大體ノ事ニ關シテ五六點聽イテ見タイト思
フノデ、此刑事訴訟法改正ト云フコトニ付テハ、多年ノ
問題デア、而シテ刑事訴訟法改正シナケレバナラヌト
云フコトノ一般ノ輿論トモ云フモノハ、官僚的デア、之ニ
依ルト色々人權蹂躪ノ問題ヲ起スト云フヤウナコトカラシ
テ、大體ニ於テ根本カラ解決シヤウト云フ輿論デア、ソ
アリマス、其他非常ニ不備ノ點モアツタデアリマセウカ、ソ
レガ一ノ重大ナル原因トシテ現ハレ、殊ニ又今回ノ刑事訴
訟法ノ理由書ヲ拜見致シマス、其事實ニ變化ヲ加ヘタ
ルモノガ頗ル多い、サウシテ實際ノ經驗ニ微シ、現行ノ手續
ニ幾多ノ改善ヲ加ヘ、又最新ノ學理ト一致セル立法ヲ參酌
シテ、長ヲ採リ時代ノ變遷ニ順應スルト云フヤウナ、非常
ニ鳴物入ノ效能澤山ノ理由書ニナリ居ルデアリマス、段
々私ハ此條文ヲ拜見致シマス、誠ニ人權ヲ尊重スルコ
ト云フヤウナ點ニ付テ現行法ニ於テ效果ノアルコトハ確カデ
アル、確カデアレドモ、若シ法文ダケヲ掲ゲテ、ソレニ對ス
ル實行ガ伴ハヌト云フコトニナルト、何ニモナラヌ、サウ云フ
法文ヲ掲ゲテ置クト同時ニ、其實行ヲドウ云フ工合ニ之ヲ
行フカト云フ所ノ所信ト云フモノガ發表セラレヌト云フ、
困ルデアリマス、私ハ先ツ一ツソレニ付テ第一點トシテ聽
イテ見タイノハ第九十二條ノ規定デアリマス、九十二條ニハ
「被告人ヲ勾留シタル場合ニ於テハ其ノ身體及名譽ヲ保

全スルコトニ注意スヘシ」斯ウ云フ規定ガアルノデアッテ、是ハ現行法ニハ無イラシイ、斯ノ如ク九十二條ニ斯ウ云フ身體及名譽ヲ保全スルコトニ注意スベシト云フコトヲ掲ゲテアルケレドモ、此掲ゲタコトガ、若シ斯ウ掲ゲテアルデアッテ、之ニ對スル所ノ相當ノ道ガ開カレヌト云フコトニナレバ、何ニモナラナイ、名譽ト身體ヲ保全スルコトハ、看板ハ宜シイ併ナガラ監獄ヘ行クト、未決勾留人ナドハ依然トシテ非常ナ束縛ヲ與ヘテ居ル、非常ナ制裁ヲ與ヘテ居ルト云フコトデアッタナラバ、羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルモノデアアル、又斯ノ如ク身體名譽ヲ保全スルコトニ注意ヲスルコト云フ看板ヲ御掲ゲニナツテモ、之ニ對シテ監獄法ト云フモノ、ニ、サウ云フコトヲ改良スル道ガナケレバ、何ニモナラヌ、要スルニ司法大臣ノ手心ナリ、或ハ場合ニ於テハ今日ノ監獄法ヲ、モウ少シ改良シテ、何時ニ朝起ルトカ、何時ニ就寢スルトカ云フ形式的ノコトニアラズシテ、法ト事實ト伴フヤウニ改良シテ行クト云フ御積リデアアルヤ否ヤ、例ヘバ今日ノ未決勾留ト云フモノハ、既決囚ト何等變リガナイ、唯赤イ著物ヲ著テ居ルノト、青イ著物ヲ著テ居ルノト違ヒダケデアアル、面會ヲ餘計許スカドウカト云フダケデアッテ、面會ニ行ツテモ、手錠ヲ鎖メテ置イテ、一定ノ時間ガ來ルトバタント戸ヲ締メテ仕舞フ、少シモ、未決勾留者ニ對スル身體名譽ノ保全ナド、云フコトハ認メルコトハ出來ナイ、少クモ刑事訴訟法ノ中ニ、身體名譽ヲ保全スルコト云フコトヲ、看板ヲ御掲ゲニナル以上ハ、相當ノ身分ノアル者又ハ單純ナ詐欺取財ト云フヤウナモノデ、マダ有罪デアアルカ、無罪デアアルカ分ラナイ事件ニ對シテマデ、ア、云フ編號ヲ被セテ、而會ヲスルコトハ跣足デ出ス、手錠ヲ鎖メテ番號ヲ付ケテ、サウシテ時間ニ制限ヲ與ヘテ面會ヲサセルナドト云フ、實ニ慘酷ナル、殘忍ナルコトヲ、一方ニ九十二條ト云フモノガアルニモ拘ラズ、オヤリニナルト云フコトハ、私ハ九十二條ハアツテモナクテモ同ジ事ダト思フ、所謂羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルニ等シイモノデアアル斯ウ云フ事ヲ玆ニ御掲ゲニナル以上ハ、何カ之ニ對スル相當ノ改良方法ハ待遇ノ途ヲ開クト云フ御考ガアルカ否ヤ、豫メ所信ヲ伺ヒタイと思フ

○林政府委員 チョット御答ヲスル前ニ、御尋フシタイノデスガ、高見君ハ此九十二條ヲ削除シタ方ガ宜イト云フ御意見デアリマスカ

○高見委員 私ハ此九十二條ニ對シテハ、削除ドコロカ、モウ少シ進ンダヤウニ書イテ見タイと思フ、ソレカラデス獨逸ノ千九百八年ノ刑事訴訟法ノ改正案ヲ見ルト、其第一百十七條ニハ、未決勾留ハ單ニ逃走ノ危險又ハ眞相發見ヲ困難ナラシムル危險ヲ防グ目的ニ供スル爲メト、入監者ノ身體及名譽ヲ保ツコトニ注意シテ之ヲ實行スルモノトスト

云フヤウニ書イテアル、又伊太利ノ刑事訴訟法——千九百九年前千八百九十七年ヨリ千九百九十年ニ五ル佛蘭西ノ刑事訴訟法デモ、獨逸ノ刑事訴訟法デモ、斯ウ云フ條文ハナイ、是ハ矢張千九百九十年以後ニ出タモノデ、極メテ最新ノモノデセウ、其最新ノモノモ、伊太利ノ刑事訴訟法ノ第三百六十九條ヲ見ルト「留置ニ付セラレタル被告人ニ對シテハ逃走ヲ防キ及ヒ過激ニ涉ルコトヲ制スルニ必要ナラサル拘束ヲ加フルコトヲ許サス」ト云フヤウニシテ、非常ニ丁寧ニ、單ニ身體名譽ト云フコトバカリデナクシテ、大體其勾留狀ヲ發スル所ノ目的ハ此處ニ在ルト云フコトニシテ、ソウシテ更ニ身體名譽ヲ保全スルコト云フコトヲ丁寧ニ書イテアル、ソレ故ニ寧ロ私ハヨリ以上丁寧ニシテ、一層身體名譽ヲ保全スルコトニシナケレバナラヌ、一寸法文ヲ掲ゲタケデ、實ハ未決勾留ハ惡イ奴ダカラ、矢張看板ハ掲ゲタケデ、唯他ノ立法例ニアルカラシテ、一寸一個條ヲ置カレタト云フコトデハ何モナラヌ、實際此條文ハ十分尊重ノ上ニ尊重シテ、此未決勾留ニ對スル取締ノ途ヲ十分考テスルト云フヤウナ、豫メ準備ガアルカドウカト云フコトヲ聞キタイ、私ハ此條文ヲモウ少シ丁寧ニ書イテ貫ヒタイト云フ考デアリマス

○林政府委員 御尋ノ趣意ハ了解シマシタ、併シ今高見君ノ御話ノ中ニ、唯看板ダケヲ掲ゲテ、實際ノ腹ハ刺シタルト云フヤウナコトデハアルマイカト云フヤウナ御言葉モアリマシタガ、是ハ實ニ意外ノ事デアッテ、本案ヲ侮辱スルモノデアルト思フ、未決勾留ト云フコトハ、人身ノ自由ヲ拘束スル重大ナ事デアリマスカラシテ、本案ニ於テハ、御覽ノ通り外ノ立法例ニ多ク無イヤウナ、二個月シカ效力ガ無イト云フヤウナコトマデ、特ニ規定シマシテ、二個月經テバ當然效力ヲ失ツテシマウ、斯ウ云フヤウナコトハ、他ノ立法例ニハ多クナイ、ソレ程人權ヲ尊重スルコトハ注意ヲ加ヘテ居ルサウ云フ同ジ精神カラ、此九十二條ヲ法文ニ現ハスコトニシタノデアリマス、無論當局者ガ此條文ノ精神ヲ發揮スル爲ニ、有ユル方法ニ依ツテ努力スルコトハ、當然ノ事デアリマス、看板ハ掲ゲタケレドモ、實際ハヤラヌト云フヤウナコトハアルベカラザルコトデ、斯ノ如キ御質問ハ、本員ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス

○高見委員 何モ私ハ本案ヲ侮辱シタノデハナイ、本案ヲ一層活カス爲ニ私ハ政府當局ノ考ヲ聞イテ居ルノデアリマス、ソレナラバ承リタイガ、現在ノ未決勾留ヲ待遇シテ居ル監獄署ノ遺リ口カ、先ヅ正シイト御思ヒデアリマスカ、詰リ現在ノ遺リ口ト、ソレカラ此身體名譽ヲ保全スルニ關スル所ノ法文ハ一致スルノデアリマスカ、此條文ヲ掲ゲテ、而シテ現在ノ監獄署ノ遺リ口ヲヤレバ、則チ兩々相一致シ、車

ノ兩輪ノ如クデアッテ、少シモ間違ガナイト云フ御考デアアルカト云フコトヲ承リタイ

○林政府委員 現在未決勾留ニ付テノ取扱ガ、果シテ高見君ノ言ハレルガ如キモノデアアルカドウカ、私ハ高見君ノ言ハレル所ヲ疑フノデアリマス或ハ一二ノ場合ニ付テ、取扱ガ穩當デナカッタト云フ風ナ事ガ絶對無イトハ言ヘマセヌ、多數ノ事デアリマスカラ——併ナガラ全體ニ於テ、未決勾留ニ對スル待遇ガ、高見君ノ言ハレタ如キモノデアナイト云フコトヲ、私ハ確信致シテ居リマス、若シ一二ノ場合ニシテモ、不當ノ事ガアリマシタナラバ、無論此改正案ニ於テ、人身ノ自由ヲ尊重スル趣意ヲ明カニシタノデアリマスカ、惡イ所ハ斷然改善スルコトヲ言明シテ憚ラヌ次第デアリマス

○高見委員 私ハ此點ニ付テモウ少シ研究シテ見タイと思フガ、サウスレバ此身體及名譽ヲ保全スルコト云フコトハ、一體ドウ云フ意味カラシテ斯ウ云フ文字ヲ御使ヒニナルノデスカ、身體名譽ヲ保全スルニ對シテ、特ニ條文ヲ置カレタ趣旨ハドウ云フノデスカ、唯所謂時代ノ變遷ニ依ツテデアリマスカ、何カ改良スル理由ガアツタカラ改良スルノデアリマセウ、改良理由ガ無クシテ列ベタノデアリマスカ、唯外國ノ立法例ニ斯ウ云フモノヲ書イテアルカラ、體裁ガ惡イト云フノデガサレルノデアリマスカ、或ハ時代ノ進運ニ適合セヌト云フ理由ガアツテ御書キニナツタノデアリマスカ

○林政府委員 別ニモウ御答スル必要モ無イト思ヒマスガ、外國ノ立法ニアルカラ眞似ヲシテヤルト云フヤウナコトハ今日ノ日本ノ立法ニ於テアルベキコトデハナイ、日本ノ立法ハ今日デハ餘程進ンデ居リマスカ、單ニ模倣的ニ立法スルコトハ斷ジナイ、殊ニ刑事訴訟法案ハ、在朝在野ノ法曹經驗家ヲ網羅シマシテ、サウシテ色々今日マデノ實際上ノ事柄モ十分ニ參考ニ致シマシテ、ソレカラ無論外國ノ立法モ參考ニハシマシタガ、外國ノ立法ニアルカラ兎ニ角載セヤウト云フヤウナ、輕々ニ法ヲ立ツテ居ルヤウナ次第デハナイノデアリマス、要スルニ此九十二條ハ人權尊重ノ趣意ヲ此處ニ明カニシタノデアリマス、大切ナ事デアリマスカラシテ、法律ニ於テ訓示ヲ與ヘタノデアリマス、詰リ訓示の規定デアリマス之ニ依ツテ法案ノ根本ノ趣意精神ガ此處ニ表現サレテ居ル次第デ、是ハ餘程大切ナ規定ノ積リデアリマス、無論當局者ハ此根本ノ趣旨ニ依ツテ、有スル方法デ此根本精神ガ十分ニ徹底スルヤウニ努力スルコトハ、前ニ申シタ通りデアリマス、此點ハ十分ニ御諒解ヲ乞ヒタイ

○高見委員 尙ホ諒解ガ出來ヌ所ガアルカラ念ヲ押シテ置キタイ、監獄署ノ取扱ガ別ニ缺陷ガ無イト仰シヤル、缺陷ガ無イト仰シヤルナラバ、此條文ヲ御作リニナルノハ、單ニ一般ノ人權尊重ノ原則ヲ示スト云フノデアリマスカ、現在ノ

監獄ノ取扱方法が差支ナイナラバ、何ノ必要ガアテ御書キニナタノデアリマス。現在ノ實際ノ狀況ヲ見、輿論ノ狀態ヲ鑑ミルト仰シヤタレドモ、現在ノ監獄ノ取扱が少シモ差支ナイナラバ、ソレデ宜イデアリマセマカ、必ズ斯ウ云フモノヲ御作リニナルニハ、現在ノ狀況ニ據ラザルコトガアル爲ニ、何カ其處ニ從來ノモノニ於テ嫌ラザルモノガアツカ、輿論トナリ、輿論トナタカラ現レタノデアリマス。現在ハ待遇が宜イカラ、此以上待遇スル途が無イナラバ、サウ云フコトが出テ來ヤウ譯ハナイト思ヒマス。モウ一遍伺ヒマス。

○林政府委員　ドウモ御話ガ喰違フテ居ルカ知レマセマカ、法律ト云フモノハ、必シモ弊ヲ矯メル爲メノミニ條文ヲ設ケルノデハナイ、是ハ言フマデモナク、根本ノ原則ハ原則トシテ明カニ規定セナケレバナラヌ、又時弊ヲ矯メル爲ニ加ヘタ法文モアル、弊ハ無クシテモ、將來ノ事モ慮テ書ク必要ガアル、今弊ガ無イカラ、何ノ爲ニ書イタト云フ、斯ウ云フ論ハ了解ガ出來ヌ、殊ニ先程申上ダタ通り、大體ニ於テハ不都合ハ無イト思フガ、併ナガラ一二ノ場合ニ於テ絕對ニ無イトハ言ヒキレヌカモ知レヌ、ソレ故ニ根本ノ原則ヲ掲ゲテ、將來一事件タリトモサウ云フ事ガ無イヤウニ勉メルコトハ、人權尊重ノ趣旨カラ當然ノコト、思ヒマス。

○高見委員　モウ切上ゲタイラレドモ、切上ゲラレナイ、ソレデハ承リタイガ、只今ノ御話ニ依テ見ルト云フト、今日ノ未決勾留ノ待遇ト云フモノハ、大體宜シイ、一二ノ點ニ於テ惡イ所ガアル、併シナガラ法律ハ大體シテ、場合ニ依ルト原則ヲ示ス必要ガアルカラ、此場合ノ大體シテ、人權尊重ノ趣旨ヲ明ニシタノデアリ、總テ今日ノ監獄署ノ狀態ヲ見ルト、監獄署ノ未決勾留ニ對スル待遇ハ、少シモ差支ナイト仰シヤルノデアリマス。今日ノ未決勾留ニ對スル監獄署ノ待遇ハ、只今申上ダタ如ク、殆ンド刑事被告人ト同様ノ待遇ヲシテ居ルノデアリマス。場合ニ依テハ編笠ヲ解クトカ、或ハ又跣足デ雨ノ中ヲ歩カセルトカ、若クハ手錠ヲ嵌メテ歩カセルトカ、面會ニ對シテハ非常ニ束縛ヲ與ヘルトカ、運動場ニ出テモ、十分カ十五分運動サセテ遣付ケテシマフ、ドウデスカ此目的ハ、今ノ新刑事訴訟法ニ於テモ、住所ヲ有シナイ者トカ、罪證ヲ湮滅スルトカ、逃亡ノ虞アル者ノ外ハ、有罪デアルカドウカ分ラヌ人間ヲ、有罪ト確定シタ者ト同様ニ扱フ觀念ハ、此法律デ以テ改良シナケレバナラヌト云フ御考ヲ御立テニナラヌノデアリマス。ソレカラ現在ノ取扱ハ、是デ何處迄モ良イト云フ御考デアリマス。

○林政府委員　其點ハ既ニ御答シタ所デ明瞭ニナタテ居ルト考ヘマス。

○高見委員　貴方ハ私ガ此法文ニ對シテ惡口ヲ言フノデナイガ、侮辱デアルト仰シヤルガ、私カラ見レバ、此法文ノヤ

ウナモノヲ以テ、今日ノ監獄署ノ取扱ガ正シイト仰シヤルナラバ、私ハ度スベカラザル議論ヲ爲サルモノト思ヒマス、ソレカラ第一點ヲ伺ヒマス、未決勾留ノ最長期限ハ二箇月トナタテ居リマス。人權尊重ノ意味カラ二箇月ニ限ッタノデアリマセウガ、伊太利ノ如キハ一箇月、獨逸ハ二箇月トナタテ居リマス。今日ノ日本ノ豫審ノ取調ガ、大正十年ノ調ガアリマスナラバ、最長ハ二箇月トナタテ居リマス。矢張是ハ最新ノ學理ト時代ノ變遷ニ依テ、二箇月ト定メラレタコト、思ヒマス。其御定メニナタテ根據ヲ伺ヒマス。

○林政府委員　未決勾留期限ヲ一定ノ範圍ニ制限シナケレバナラヌコトハ、調査立案ニ從事シタ人ノ一致ノ意見デアリマス。其程度ハムツカシイノデス。經驗家ガ調査シタ結果、勾留シテ調ベナケレバナラヌヤウ事件ハ、先ツ二箇月位ハ已ムヲ得ヌト云フ意見デアリマス。要スルニ從來ノ經驗カラ來タノデアリマス。尙ホ統計ノ御話ガアリマシタガ、統計ノ上カラ見テモ二箇月以下ガ一番多イノデアリマシタ、未決勾留ニ付シタ事件ハ、ドウシテモ二箇月位ハ其狀態ヲ繼續スルコトハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フコトモ統計カラ論證スルコトガ出來ルノデアリマス。ソレデ二箇月ト極メマシタ。

○高見委員　統計ガアリマス。御示シテ願ヒタイノデス、大正九年若クハ十年ニ豫審ニ付セラレテ、五十日掛タモノ何件、百日掛タモノ何件ト云フヤウニ、御示シテ願ヒタイ。

○林政府委員　御答致シマス、大正九年ノ豫審ニ於ケル勾留人員ガ六千五百四十四人、勾留期間ハ十五日以內ガ九百三十六人、一箇月以內ガ四千四百二十四人、二箇月以內ガ千七百九十九人、三箇月以內ガ七百八十八人、六箇月以內ガ八百九十五人、一箇年以內ガ百九十八人、一箇年以上ガ二十三三人デアリマス。

○高見委員　サウスルト六千人ノ中デ殆ド四千八百人ハ二箇月以內デアリマス。所ガ今度二箇月ハ多クナイカト云フトコトヲ伺ヒマス、今迄豫審ニ付セラレルト辯護士ガ從テ早ク豫審ヲ終結シテ呉レト云フト、豫審判事ハ二箇月迄ハアルノダカラナアト云フヤウナコトヲ言フ、ソレカラ今一ツ伺ヒタイコトハ、改正案デハ、豫審判事ガ起訴前ト雖モ未決勾留ヲシナイ先キニ、色々調ノ出來ル十分ナル手段方法ガアルノデアリマス。殊ニ二箇月ト云フモノハ、從來豫審ヲ中心トシタヤウナ御考カラ見マシテモ、殆ド四千件迄ガ二箇月デアリマス。實際ノ實況カラ當メテ往タト云フニ過ギナイノデアレ、殺人トカ重大ナル事件ヲ除クト、事實上最少限二箇月ト云フコトガ、今迄ノ狀態デアタナラバ、却テ二箇月ト云フ杭ヲ打ツタ爲ニ、長クナル弊ヲ喚起サルヤ、寧ロ豫審判事ヲ督勵シ、サウシテ人權ノ尊重ヲ圖ル主意デアラナラバ、モ少シ縮メルノガ當リ前ト思ヒマス、今ノ統計ニ依テモ、ドウ

シテモ長クナルト云フモノヲ取去タ統計ヲ見ルト、十中七モハモ二箇月デ最少限ノモノニナタテ居ル、統計ノ上カラ見テモ、一パイノ所ヲ現ハシタモノデアル、サウシテ又豫審ニナタテカラ、ヤカマシク言テモ、何分二箇月間ノ權補ガアルト云フヤウナコト油斷ヲスル、モウ一ツハ今日檢事ノ檢證其他檢査ニ對シテ、非常ナ權利ヲ認メテアルガ故ニ、意外ニ豫審ノ問題ガ早ク片付ク傾向ヲ持テ居ルヤウニ思フ、果シテ然ラバ二箇月ニスルヨリモ、一箇月半トカ、一箇月トカ云フ風ニシテ、寧ロ其期間ヲ少クシテ、督勵ヲスルト云フ所ニ、人權ヲ尊重スルト云フ有難味ガアリハセヌカト思フ、是ハ議論デアナイガ、一ツ其點ニ付テ御意見ヲ承テ見タイト思ヒマス。

○林政府委員　先程モ申シマシタ通り、ソレハ二箇月トスルガ宜イカ、三箇月トスルガ宜イカ、或ハモト短イ方ガ宜イカト云フコトハ、餘程ムツカシイ問題デ、是ハ机上ノ論デ決スル譯ニハ無論イケマセヌ、ソレガ爲ニ調査委員會ニ於テハ、隨分色々ノ説ガ出マシテ、結局在野ノ法曹ノ經驗家ガ此程度ガ宜イト云フコトニ定メタノデアリマス。私モ矢張此邊ガ適當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ斯ウジヤナコト云フ御尋デアリマス。ソレハ其局ニ當ル人ヲ生ジナイカト云フ御尋デアリマス。今マデ未決勾留ノ期間ニスレバサウ云フコトニナリマセウガ、今マデ未決勾留ノ期間ノ無カッタノ制限ヲシテ、未決勾留ハ大ニ注意スベキモノデアルト云フコトヲ、法文ノ上ニ現ハシタノデアリカラ、之ヲ正當ニ解釋スル人ハ、從來ヨリ注意ヲシテ、一日モ早ク釋放スベキ者ハ釋放スルト云フコトニ努ムルノガ當然デアル、左モナケレバ法律ノ精神ニ反スルト云フコトニナルノデアリ、マスカ、斯ノ如キコトノ無イノハ當然ノ事ト思ヒマス。尙ホ司法當局ニ於テモ、一層サウ云フコトニ付テハ行政監督ノ方法ニ依テ、法律ノ精神ヲ發揮セシムルヤウ努メルノハ、論ヲ俟タント思ヒマス、從テ御心配ノヤウナ事ハ、私ノ考トシテハ無イト考ヘテ居リマス。

○高見委員　此以上ハ議論ニナリマス。カラ申シマセマカ、モウ一ツ承テ置キタイノハ第六十五條——六十五條ニ辯護人ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ速記者ヲシテ公判ニ於ケル被告人又ハ證人ノ供述ヲ筆記セシムルコトヲ得トアル、是ハ實際ニ有難イノデアリカ、有難クナイノデアリカ分ラナイ、斯ウ云フコトガ、人權尊重ノ看板ヲ掲ゲテ、其實ガ無イノデアリナイカト云フコトヲ疑フ、ソレハ今マデノ裁判ノ第一審カラ第二審ニ行ク判決書ハ、裁判所ノ書記ガ作ルノデアル、斯ウ云フ事ヲ申スト、又無禮ノ事ヲ言フト仰シヤルカ知レマセヌガ、第二審ニ於テハ、第一審ノ調書ヲ見テ、才前ハ是レ

ノ事ヲ言フテ居ルデハナイカト云フト、被告ハ其様ナ事ハ申シマセヌト言フ、其調書ハ何人ガ拵ヘタノカト云フト、裁判所ノ書記ガ誰トモ相談セズ勝手ニ作タモノデ、此時被告ハ窃盜致シマシト自白セリト云フヤウニ書イテアル、本人ハ第一審デハ左様ナ事ハ申サヌト云フ、何方ガ實際デアアルカ分ラヌ、ソレ故ニ斯ウ云フ場合ニハ、速記ヲ用キタラ宜カラウト思フ、現ニアナタガ政府委員トシテ此議會ヲ御覽ニナツテモ、四百六十四人ガ皆聽イテ居ル、所デ議論ガ沸騰シタ時ナドノコトハ、速記デナケレバ判斷ガ付カナイ、アレガ裁判所ノ書記ノヤウナ風デアラ、速記デナカッタ、果シテソレガ信ジ得ラレルデアラウカドウデアラウカ、私ハ永久ニ判斷ハ出来ナイダラウト思フ、ソコデ裁判所アタリニ於テ、裁判官ノ言フコト、被告ノ言フコトヲ、書記ガ聽取テ書イテアルノデアアルガ、ソレハ一寸言フコトノ一言、言フ言ハナイト云フコトガ、有罪無罪ノ岐ル、所ニナルノデアアル、デアアル速記ニ依ル方ガ餘程確實デアアルト思フ、此條文デハ、辯護人ガ裁判所ノ許可ヲ受ケテト云フコトニナテ居ル、其費用ハ辯護人ノ負擔デモ宜シ、或ハ被告ノ負擔トシテモ宜イガ、公判デハ是非速記ヲ用ユルコトニシタイ、豫審調書ノ方ハ豫審判事ガ讀聽カセル、或ハ檢事ノ聽取書ニシテモ讀聽カセテ、被告ガサウデナイト言ヘバ改メルコト出来ルカラ、ソレニハ速記ハ要ラナイカモ知レマセヌガ、公判ノ時ニハ、全ク書記ガ作ルノデアアル、ソレガ公判始末書ト云フモノニナルノデアアル、ソレニ付テハ非常ニ議論ガアツテ、甚ダ困ルコトガアルノデアアル、所デ今更御規定ニナツタ六十五條ノ理由書ヲ拜見スルト、被告人又ハ證人ノ正確ナル供述ヲ知得スルコトハ、辯護人ノ重要ナル職責ナリ、是レ本條ノ規定アル所以ナリ、速記ハ參考ノ用ニ供スルモノナリ、之ヲ以テ公判調書ヲ補足スルモノト解スヘキモノニ非ス、トシテアル、是ハ參考ニ供スルモノデアアルトシテアルガ、誰ノ參考ニスルノデアアルカ、參考ニスルト云フノハ、辯護士ノ參考ニスルト云フノデアアルカ、裁判官ノ參考ニスルノデアアルカ、一體誰ノ參考ニスルノデアアルカ、ソレヲ承テ見タイト思ヒマス

○林政府委員 公判始末書ノ記載ニ付テ、正確デナイト云フ御話デアリマシタガ、是ハドウモ十分デアアル、完全デアアルト申スコトハ出来マセヌガ、併トガラ今日ノ公判始末書ガ、高見君ノ言ハル、程ニ實際不完全ノモノデアアルト云フコトニハ考ヘテ居リマセヌ、勿論陳述スル所ノコトヲ、書記ガ完全ニ書クト云フコトハ非常ニ困難デアアル、本案ニ於キマシテモ、其點ヲ考慮致シマシテ、公判始末書ノ記載ニ付テモ、供述者ノ請求ガアレバ、讀聽カセテ、増減變更ノ申出ガアレバ書クト云フコトニナテ居テ、隨分注意シテ立案シテアリマス、ソレデアアルカラ供述者ノ述ベタコトニ反對シタコトガ公判

始末書ニ載ルト云フコトハ、先ヅ此案ヲ實行スレバ無イコトニナルデアラウト思フ、現行法デハ公判始末書ニ付テ讀聽カセルト云フコトハナイノデ、後ニナツテ彼此レノ論ノアツタコトハアル、其弊ハ此案ニ於テハ十分ニ斷ツコトガ出来ルト考ヘマス、ソレカラ又速記ノコトデアリマスガ、速記ニ關スル制度ヲ如何ニスベキカト云フコトニ付テハ、隨分論ガアツタノデアリマス、併シ裁判所デ常ニ速記者ヲ裁判所ノ職員ニ入レテ、速記ヲ以テ公判調書ニスルト云フコトハ、今日ノ實際ニ於テハ行ハレナイ、ソレデ結局此六十五條ノヤウニ、辯護人ガ裁判所ノ許可ヲ得テ速記サセル、サウシテ其速記ハ參考ノ値打ガアル、參考ト云フコトハ、無論裁判所ニ取ツテモ參考ニナリ、訴訟關係人ニ取ツテモ參考ニナルト思フ、サウシテ公判調書ヲ以テ正式モノトスルノガ原則デアリマス、併ナガラ其公判調書ト速記ト違テ居ル場合ニハ、如何ニ判斷スルカト云フコトハ、其局ニ當ル裁判官其他訴訟關係人ガ相當ニ判斷スルヨリ途ガナイ、速記デアアルカラ必シモ正確デアルト云フコトハ一概ニ言ヘナイ、速記ニモ、現ニ私ハ短カイ經驗デアリマスガ、先日豫審委員會ノ速記ヲ見ル、私ノ述ベタコト、マルデ反對ノコトモ書イテアル、速記デアアルカラ悉ク信ズルト云フコトモ出来ナイ、是ハ結局裁判官及訴訟關係人相互ノ參考ニスルト云フ意味デ、斯ウ云フ規定ヲシタ次第デアリマス

○高見委員 是ハ裁判官ノ參考ニモナレバ、辯護人ノ參考ニモナルト云フノデアアルガ、之ヲ以テ公判調書ヲ補足スルモノト解スベキモノデアアルトシテアル、所デ第一審デハ調書ニハドウ書イテアツテモ、裁判官ガ判斷ヲ下ス時分ニハ――裁判官ガ途中デ變テ時ハ別デスガ、大體自分ガ初メカラ其局ニ當テ事實ヲ調ベタ時ニ於テハ、書記ノ書イタ調書ニ何ト書イテアツテモ、自分ノ頭デ定メルカラ宜イガ、第二審ニ行クト、記録ヲ調ベルコトニナル、ソレデスカラ此速記シタモノヲ裁判所ノ一件記録ノ中ニ入レルコトハ出来マスガ

○林政府委員 今ノ御尋ハ、誠ニ御尤ノ御尋ト考ヘマス、此速記シタモノヲ訴訟記録ノ中ニ綴込ムカドウカト云フコトハ定マテ居リマセヌ、現行法デモサウデアリマスガ、訴訟記録ト云フモノニ、ドレダケノモノヲ綴込ムカト云フコトノ法レバナラヌト考ヘテ居リマス、今日ノ所デハ各裁判所ニ依ツテ多少違テ居ル、或ル裁判所デハ或種ノ書類ヲ綴込ム所ガアレバ、裁判所ニ依ツテハ綴込マスト云フ所モアリマス、是ハ將來其事ガ統一の定ムル必要ガアルト考ヘテ居リマス、其場合ニ速記シタモノモ、將來記録ノ中ニ綴込ムカドウカト云フコトモ決シタイト思ヒマス、此法案ニ於テハ、綴込ムカドウカト云フコトハ決テ居リマセヌ

○高見委員 ソレダカラ一體斯ウ云フコトヲ澤山書ク、條文ダケヲ掲ゲテオイデニナル、例ヘバ監獄未決勾留者ニ對シテハ――

○鶴澤委員長 高見君、御書きニナルト言フガ、議員ガ之ヲ議シテ、法律ニスルカドウカ、諸君ノ權能デアアル、之ヲ政府ガ書イタモノノ許リト思フノハ、是ハ餘程議員ノ權能ヲ侮辱スルモノト思フ

○高見委員 唯政府ノ發案ヲサレルニ付テ、ソレニ對シテハ必ズ根據ガナケレバナラヌト思フ、其根據ヲ聽クニ付テ意見ヲ述ベテ居ル、此案ニ依ツテ是ガ總テ出来上ツタモノトハ考ヘテ居リマセヌ、ドウカ委員長長惡シカラズ――ソコデ此速記ハ記録ノ中ニ入レナイモノトスレバ、一體ドウ云フ風ニ斯ウ云フモノヲ御書きニナツタデアリマスガ、今日デモ新聞記者ハ出席シラレテ、サウシテ大體ノ答辯等ヲ書取テ新聞ニ御出シニナル、ソレハ裁判所ノ書記ガ御書きニナツタヨリモ、モトトシイモノガ出ルコトガアル――事件ニ依ツテ、サウスレバソレハ一々昔カラ新聞記者ガ出テ、ソレヲ深ク速記シテ書イタト云フコトヲ、昔カラ裁判所ノ許可ヲ受ケタコトハナイ、今度特ニ許可ヲ受ケルト云コトニナレバ、許可ヲ受ケタ所ノ效能ガナケレバナラヌ、或ハ第二審デ辯護士ガ速記者ヲ出ス時ニ、其速記ニ許可濟トカ云フヤウナ檢閱デモ頂戴シテ、サウシテ第一審裁判所ノ許可ヲ受ケテ、サウシテ筆記シタモノデアアルト云フコトニシテ、或ハ第二審ノ辯論ニデモ供スルト云フコトニデモスルカ、唯許可ヲ得テ筆記シタト云フコトデアラハ何ニモナラヌ、辯護士ハ許可ヲ得テモ、記録ニモ入ラヌコトヲ速記シテ、自分ガ懷ニシテ參考ノ用ニ供シタツテ、今日デモ新聞記者ガ速記者ヲ使ツテ、疑獄事件デモ御覽ナサイ、速記者ガ二人三人モ入ッテ居リマス、サウシテ裁判所ノ書記ノ方ハ、簡單ニ被告ガ何ノ事ニ關シテハ斯様ニ答ヘタ、斯様ニ論ジタ、簡單ニ記シテアリマス、ケレドモ新聞デハ、社會ノヤカマシイ時ニハ、速記者ヲ伴レテ行ツテ、裁判書記ヨリ尙詳シイコトヲ書イテ居ル、サウ云フ事ハ許可ヲ受ケルコトモナケレバ、新聞記者モ出来ル、又速記者モ行ツテ速記シテ居ル、斯ウ云フモノヲ刑事訴訟法ニ斯ウ云フコトヲ入レルト云フコトニナレバ、是ハ公判ノ書記ノ筆記ト、速記ト書取ラレル時ハ、ソレハ裁判所ニ於テ同ジ事デアツテ、速記ハ參考ニ供スルト云フガデアツテ、第一審ノ記録ニ綴込マシテ、速記ニ依ツテ斯様ニアルカラト云フヤウナ、所謂證據書類ニナラヌデモ、少クモ裁判所ニ於ケル裁判應答ノ狀況ハ斯ウ云フモノデアラト云フ、所謂一種ノ真相ヲ傳ヘルヤウナ價值ノナイモノ、斯ウ云フコトニナレバ、特ニ速記者ガ行ツテ速記スルマデノコトハナイ、シテ見レバ何ノ效能モナイ、ヤルナラバ此法文デ作ッタト云フコトニハ、矢張記録ニ入レ

ルト云フコトヲ、今ノ中ニ御説明ニナルノガ宜イト思ヒマス
○山内政府委員 素人ガ口出ヲスル場合デモナイト考ヘ
マスガ、既ニ參考トスルコトヲ得ト云ツタ以上ハ、何等ノ效
カノナイ書類デハナイト云フコトハ言フヲ俟タヌ、而シテ參
考トスル以上ハ、ドコニドウスルカ分ラヌガ記録ニ綴込ムノ
カ、記録ニ付ケテ置クノ知ラヌガ、漫ニ之ヲ他ニ放ツテ置ク
コトハナイト考ヘテ居リマス、ノミナラズ許可ヲ得テ速記ヲ
シテ、ソレヲ徒ニ辯護士ノ机ノ中ニ入レテ居ッテハ困ルノデア
リマス、果シテ許可ヲ得テ出来タ書類デアアルカ否カト云フコ
トヲ現ハス爲メニハ、矢張或ル方法ヲ以テ之ヲ見得ルコトニ
備ヘテ置カンケレバナラヌト云フコトハ、言フヲ俟タヌノデア
ル、記録ニ綴込ムトカ綴込マヌトカ云フコトハ分ラヌニシテ
モ、參考トシテ見ル以上、之ヲ何處カニ束ネテシモフ積リデ
ナイコトハ、素人デモ能ク分ルト思ヒマス

○高見委員 ケレドモ先程刑事局長ノ御答辯ニ依レバ、
ソレヲ記録ノ中ニ入レルカ入レナイカ、今日マダ少シモ決ッテ
居ラヌ、ソレカラ參考ニ速記スルト云フコトデアリマスガ、今
デモ社會ニヤカマシイ問題ニナルト、速記者ヲ呼ンデ、速記
者ノ手デ以テ法廷ノ傍ノ方デ自由ニ新聞記者ナド、之ヲ書
イテ居ルト云フ、速記ニアラズシテ即チ官許公許ノ速記、サ
ウシテ速記者ガソレヲ書イタナラバ、其謄寫ヲ裁判所ヘ提
出スルトカドウトカ、之ヲ區別ヲシナケレバナナルマイト思フ

○林政府委員 高見君ハ私ノ答辯ヲ誤解シテ居ルノデア
リマス、苟モ訴訟法ガ認メタ手續ニ依ッテ速記シタモノデア
レバ、何等法令ニ依ラズシテ便宜上速記シタモノト、取扱シ
異ニスルコトハ論ヲ俟タヌコトデアアル、御論マデモナイコトデ
アルト思ヒマス、私が先程申シタノハ、訴訟記録ノ中ニ綴込
ムノカドウカ分ラヌ、記録ノ中ニ穴ヲ明ケテ綴込ムカドウカ
分ラヌ、袋ニ入レテ置クカドウカ、ソレハ定マッテ居ラヌ、併ナ
ガラ訴訟手續ニ依ッテ速記シタ、而シテソレガ裁判上參考ノ
效力ガアルノデアリマスカラ、或ハ辯護士ノ懷中ニ入レテ置
クトカ、机ノ内ニ入レテ置クトカ、サウ云フ筋ノモノデナイト
云フコトハ明カデアアルト思フ、ソレデアアルカラ私ハ深く述べナ
カッタノデアリマス、是ハ當然ノ事デアアル

○高見委員 サウスルト諄イヤウデアリマスガ、裁判所ニ辯
護士ガ許可ヲ得テ速記ヲスレバ、其書類ハ裁判所ヘ提出ヲ
スル、裁判所ハ何等カノ方法ヲ以テ御保管ニナル、斯ウ解シ
テ宜シイノデアリマスガ

○林政府委員 勿論デアリマス

○高見委員 私ノ質問ハアトハ午後ニ致シマス

○鷗澤委員長 アナタノハマダ長イデスカ

○高見委員 マダ三點カ四點アリマス

○清瀬委員 委員長ノ方ヘモ來テ居ルト思ヒマスガ、日本

辯護士協會ヨリ、此刑事訴訟法ノ事ニ付テ、本日午後一
時カラ協議シタイト云フ通知ガ來テ居リマス、吾々委員ノ
上カラ見レバ、私事デアリマスケレドモ、委員ノ大部分ハ辯
護士協會ニ關係ノアル者デアリマス、私共モ行ッテドウ云フ
協議カ一ツ聽イテ見タイト思ヒマス、御急ギノ取調中デアリ
マスケレドモ、本日ダケハ午後一時カラ御休ヲ願ヒタイト思
ヒマス、明日カラ勉強致シタウゴザイマス

○鷗澤委員長 宜シウゴザイマセウ、サウ致シマセウ、本日
ハ是デ散會致シマス

午後零時二十二分散會

大正十一年二月十四日印刷

大正十一年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局